



# 鳥取港にぎわいづくり ～鳥取港西浜緑地(公園)整備すすむ～

令和2年、鳥取港港湾計画 鳥取港長期構想検討委員会により、鳥取港にぎわいづくり基本計画が策定された。この目的は、鳥取港の物流・人流などの総合的な「港湾空間の在り方」、鳥取県東部地区の「観光拠点としてのにぎわいづくり」である。

これに基づき、「鳥取港にぎわいづくり」の一環としての「西浜緑地公園の整備」を行うことになった。また、構想段階で、鳥取県と地元との意見交換会も開催された。「西浜緑地公園の整備」は、令和5～6年の計画で行われている。令和5年度に①駐車場 ②公衆トイレを設置、同6年度に ③階段工・野外スタンド ④照明灯が予定されている。

今後も、「にぎわいづくり」として、①ウッドデッキ ②遊歩道 ③散策路 ④グランピング ⑤釣り環境整備 ⑥新たな駐車場 ⑦照明灯設置などが、計画されている。

この整備が、「鳥取港のにぎわいづくり」となり、賀露町のますますの発展と振興になることを願う。



西側駐車場(新設)



公衆トイレ(新設)



第57号

令和6年3月31日発行  
発行所  
賀露町自治会  
印刷所  
日ノ丸印刷KK

## スローガン

# 最後まで力をあわせて優勝をねらって

## がんばろう(賀露小学校児童会)

賀露小ソーラン5・6年



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの活動が自粛される中、待ちに待った運動会を4年ぶりに地域の力を結集し開催した。伝統の区対抗リレーや百足競争、綱引き、児童の応援合戦、白浜グラウンドは町民の熱気と大歓声に包まれた。家族で囲んだお弁当も、運動会のメインイベントだった。

# 校区民大運動会

4年ぶり

主催：賀露町自治会 南隈・晩稲自治会  
共催：賀露地区公民館  
賀露小学校  
主管：賀露町体育会

入場行進



中学生ボランテア



伝統各区対抗リレー



パン食い競争

# 自治会 令和6年度運営方針

<令和6年度自治会運営方針>

健康で明るく楽しい賀露町とするため、町内住民と共に、率先して「賀露町のまちづくり」をすすめる。

1. 「安心安全なまち」（防災・防犯・交通安全活動）
2. 「互いに助け合い子育てしやすいまち」（住民相互の連携連帯、世代間交流）
3. 「人権を尊重するまち」（福祉活動をすすめ、住民お互いが思いやりを持つ）
4. 「明るく住みやすいまち」（騒音・悪臭・不法投棄解消・草刈りなど環境整備）
5. 「歴史や文化をはぐくむ（育てる）まち」（賀露町の歴史・伝統文化・行事継承発展）

## ●自治会年間活動計画

- 代議員会 1/28
- 理事会 毎月1回
- 執行部会 毎週1回
- 校区民大運動会 5/26
- 賀露海岸清掃・湖山川町民一斉清掃 7月
- 団体による海岸清掃 7月～8月
- 敬老事業 各町内会実施
- 町民文化祭 10/6
- 賀露地区一斉防災訓練 11/10
- 町民不法投棄監視  
(自治会執行部・理事) 毎月

## 令和6年役員

会 長	芥島 寿美 (五区)
副会長	石黒 智 (西浜)
//	糀 卓美 (五区)
監 事	林 美喜夫 (一区)
//	岡村 吉彦 (三区)
//	岸 博道 (五区)
顧 問	島谷 龍司 (県議)
//	古網 文子 (六区)
//	松田 順子 (八区)
事務局長	美川 裕教 (五区)

理 事	
一区区長	小谷 拓
二区区長	影井 博行
三区区長	泡田 秀美
四区区長	宮本 清
五区区長	浜本 誠
六区区長	浜橋 喜幸
七区区長	西本 政雄
八区区長	林 勝美
上浜区長	藤田 聡
西浜区長	中嶋 康登

## 自治会3大事業

- 校区民大運動会
- 町民文化祭
- 賀露地区一斉防災訓練



(R5年から南隈町内会と団体活動を行っています。南隈区長 石田克志)

## 自主防災会 防災指導員 石黒 智

① 「安心安全なまちづくり」

②・賀露地区自主防災会では、防災ワーキンググループで防災訓練や防災研修及び防災資機材等の購入計画を策定し、自治会の理事会に諮り実施している。

- ・10月22日 賀露町一斉の避難訓練と安否確認訓練を実施。地区公民館を会場に「大雨・洪水警報発令時の避難計画」の概要説明と警戒レベル4及び5での避難計画手順の確認等を行った。この防災研修会に各区の防災担当者ら50名が参加。また簡易トイレの設置訓練も行い、各区に簡易トイレを配布。



防災研修会

- ・近年多発する大雨・洪水災害や年明けの能登半島地震と津波被害など自然災害を想定した「対応マニュアル」や要領を作成し、周知と実践を図る事が喫緊の課題と考える。
- ・R6年11月に避難所開設訓練を実施する予定。

# 2023年度 各種団体活動

《活動の内容》 団体名 ①目標(テーマ) ②主な活動・現状・抱負

## 社会福祉協議会 会長 泡田 秀美

- ①「福祉事業を通じ、みなさまがイキイキと毎日を過ごすためのお手伝い」
- ②・毎月1日に社協ニュース、年1回広報誌「めぐもり」(38号)発行
  - ・ふれあい型食事サービス・・・4～6月、10～3月実施(手作り弁当)
  - ・ふれあいデイサービス・・・9/27(6区公民館)、  
10/25(8区集会所)
  - ・ひとり暮らし高齢者のつどい・・・6/12(餘部鉄橋空の駅ほか)
  - ・高齢者健康教室 ミニデイプラス・・・2/22、3/5(鳥取砂丘)
  - ・男の料理教室・・・4/3、9/11(鹿野)、12/4(食育推進委員会の協力)
  - ・ふれあい・いきいきサロン・・・32サロン活動(継続32, 新規0)
  - ・研修会、説明会、会議、年末お見舞いなど実施
  - ・地区全体の敬老会は中止し、75歳以上の方々に記念品配付



ふれあいデイサービス 8区集会所

今後も、町内の諸団体及び多くの方々との連携を図り、福祉の充実をめざしていきます。

## 老人クラブ 会長 糺 卓美/実行委員長 網浜 忠生

- ①共に元気を合言葉に、「楽しむ」と「地域貢献」を両輪として活動する。
- ②・今年度は、新規事業として「懇親会とグラウンドゴルフ」、「高齢者研修会(神戸日帰りバス旅行)」を実施した。
  - ・他の主な事業として、地区公民館の清掃(春秋)、賀露神社清掃(春秋)、町民文化祭への参加(グラウンドゴルフホールインワン競争)、健康講演会への参加、防犯講習会及び交通安全講習会等を実施した。
  - ・老ク連に加入されていない地区が増えております。会員のみでなく、賀露地区全体を対象にした「バス旅行」を企画し、会員外の高齢者の方にも参加して頂きました。(参加者内訳 会員33名 会員外13名)



会員研修旅行(神戸港)

これを機会に、会員外の高齢者の方が参加できる事業を増やしていくと共に、未加入の地区は、「老ク連」に加入して頂きたい。

## 防犯協議会 会長 山本 大

- ①地域を犯罪から守るお手伝い
- ②・広報活動や夏休み期間中の夜警をミニパトにより例年通り実施した。
  - ・湖東グリーンゾーン活動の一環として、あいさつ運動啓発活動も例年通り実施した。
  - ・防犯、交通安全研修を開催(防犯・交通安全・老ク連共催) 特殊詐欺の実態と対策や交通事故防止について警察の方のお話を聞いた。
  - ・特殊詐欺による被害は、今も減ることなく増え続けている。被害者の多くは「自分は大丈夫」と思っていたが被害にあっているケースが多いことから、手口が巧妙になっている。電話で「ATM」「還付金」という言葉がでたら、警察や周りの人に相談することが大事である。



防犯交通安全研修

**賀露地区民生児童委員協議会（民児協）** 会長 大黒 進

- ①「支えあう 住みよい社会 地域から」  
 ②（主な通年活動）

- ・ 困りごと相談
- ・ 一人暮らし高齢者等の見守り
- ・ 子どもの見守り活動等  
 （令和5年度の主な活動）
- ・ 新小学1年生訪問（入学祝い持参）
- ・ 一人暮らし高齢者の熱中症対策のアンケート調査（鳥取市保健所事業の協力）
- ・ 食事サービスの支援（配食）
- ・ 一人暮らし高齢者への年末のお見舞い支援（お餅配り）
- ・ 町民文化祭参加（綿菓子ブース出店）
- ・ かる子ども食堂の広報支援



R5.11.1 湖東地域包括支援センターからの業務説明

R5.11.3 町民文化祭  
 民児協ブース（綿菓子出店）



**婦人会** 会長 外山 照野

- ①「仲間づくりを大切に、女性の絆を深めよう！」  
 ②通称名を「賀露女性の会」とし、皆さんに親しみを持って頂けるようにと思っています。いろいろな情報が簡単に手に入る今、わざわざ婦人会でなくてもいいよ・・・と考える方がおられるのも事実です。ですがいざという時、助け合い支え合うのは隣近所です。女性の方の力が必要と考えます。しかし、顔見知りでなくてはその力はうまく発揮できないと思います。その顔見知りの場が「各区の婦人会」、そして「賀露女性の会」だと思っています。会員数の減少は止まりませんが、女性が集える場としての「賀露女性の会」は存続して行きます。婦人会を卒業された方、若い方、皆さん気軽に声を掛けてください。無理せず、集える時に集い、楽しいことをして仲間づくりをして行きたいと考えています。



地域交流 簡単クッキング  
 （文化祭）



会員交流 羽子板づくり

**賀露地区保護司会** 会長 景山 隆

- ①明るい地域社会を目指して  
 ②・母体の鳥取地区保護司会の主要行事・イベントに参加（定例研修受講、社会を明るくする運動参加、社会貢献活動、等）
- ・ 賀露出身の青少年の保護観察・社会復帰支援（1名の青少年）
  - ・ 湖東グリーンゾーン賀露支部あいさつ運動へ参加（夏、秋計4回）
  - ・ 湖東中校門でのあいさつ運動（毎月第3水曜朝）
  - ・ 社会を明るくする教室開催（世紀小6年生対象の事例学習、R5,10月）
  - ・ 今年は、会の今後について種々の可能性を検討したい。



湖東中でのあいさつ運動（R5,12月）

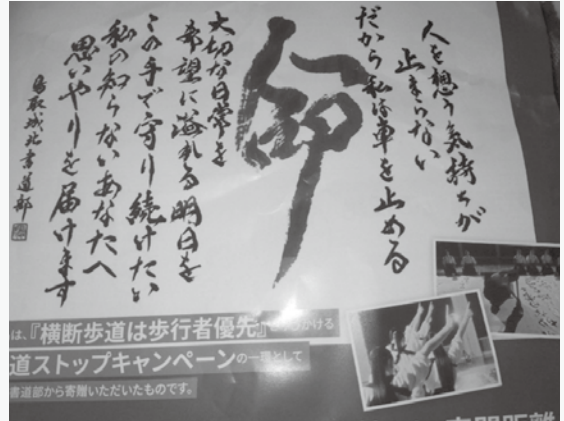
## 鳥取交通安全協会賀露支部 支部長 島田 晴彦

### ①「横断歩道は歩行者優先」

人を想う気持ちが止まらない。だから私は車を止める。大切な日常を、希望に溢れる明日をこの手で守り続けたい。私の知らないあなたへ思いやりを届けます。

### ②【令和5年度の主な活動】

- ・春・夏・秋・年末の交通安全運動の実施
- ・ミニパトでの町内巡回広報活動
- ・のぼり旗の掲揚
- ・町内違法駐車の間パトロール
- ・通勤車両と商業施設での啓発チラシの配布
- ・反射看板・光る足形ストップマークの設置
- ・老人会交通安全講習会協賛実施



研修会の資料より

## 消防団 分団長 清水 利雄

### ①「地域、住民のみなさまに安心・安全を」

### ②・鳥取市消防団消防出初め式（1月8日）

- ・賀露神社とんどさん防火出動（1月9日）
- ・春の火災予防運動（3月1日～7日）
- ・鳥取市消防団ポンプ操法大会（5月28日）
- ・賀露小教育振興会主催キャンプファイヤー防火出動（8月19日）
- ・鳥取県防災フェスタ・鳥取港避難訓練（9月10日）
- ・鳥取市消防団西ブロック夜間訓練（9月30日）
- ・鳥取空港・消火避難訓練（11月3日）
- ・秋の火災予防運動（11月9日～15日）
- ・年末特別警戒（12月25日～31日）
- ・各区消火訓練
- ・この1年間、その他火災（8月11日、賀露海岸防風林、消火まで約2時間要す）、建物火災（11月17日、ガスコンロ火災→ボヤ程度で済む）が発生、台風・大雨等自然災害において賀露地区は大事に至らず。
- ・近年、自然災害で想定以上の被害が発生（直近では令和6年1月1日能登地方の大地震、津波災害）、自然災害に対しては、事前準備・早目早目の対応を。火・火気の取り扱いには十分の注意をお願いいたします。



賀露分団 消防格納庫

## 環境部 支部長 萩原 元気

### ①「きれいな町作り」

- ②・鳥取市のアダプト活動認定団体として5月、11月に市道賀露幹線の除草作業やシート貼り作業を行った。
- ・鳥取市市民運動推進協議会の呼びかけに賛同し、4月、10月の一斉清掃を行った。
- ・町内、各種団体と協同し7月に海岸清掃、湖山川清掃を行った。



令和5年度第1回アダプト活動 シート貼り作業

## 賀露地区健康づくり推進委員会 会長 泡田 秀美

- ① 「笑顔と会話、みんなで取り組む健康づくり」
- ② ・ 集団検診は、10月に6区公民館と8区集会所で実施し、61名の方が受診した。昨年に続き、胃がん検診（バリウム）を個人負担なしで取り組み、11名の方が受診した。
- ・ 健康ウォークは、「まちかどウォークin賀露 パートⅢ」として、5月に実施した。地区公民館から、賀露神社、船手番所跡、貝殻屋敷、大和川久太郎塚、みなと公園を回り、地区公民館に戻るコースをゆっくりと歩いた。小雨の中でしたが、普段見慣れている街かどを歩き、新たに知ることもあった。
- ・ 賀露地区公民館と共催の健康体操は、高齢者の方が参加しやすいように、昨年に続き、町内2か所の開催とし、6区公民館と8区集会所で開催した。
- ・ 町民文化祭の「かる健康ひろば」、健康講演会、健康づくり推進員研修会など実施した。一人でも多くの方に健康に関心を持っていただけるよう、工夫をしながら各種の取り組みを継続していきたい。



健康ウォーク みなと公園

## 食育推進委員会 会長 古網 文子

- ① 「家庭から始める食育の輪」
- テーマ：足りていますか 1日分の野菜～1日摂取目標量350gです～
- ② ・ 3年ぶりに地区研修会実施。野菜メニュー5品を伝達。夏休みには「子どもメニューのおにぎりDEサンド」、町民文化祭では「適塩・減塩講座」を行った。かるっこ塾カレーの日「食育と減塩かるた」で楽しんだ。また、3年ぶりに「むつみ会研修会」を八東 光澤寺にて開催。
- ・ からだは食べたものでできている。これからも調理実習を通して毎日の食事の大切さを伝えていきたい。



食育減塩かるたの様子



「シオとらん」  
鳥取市産塩イメージキャラクター



## 駐在所 鈴木 健太

- ① 「安全で安心な町をめざして」
- ② 昨年より賀露駐在所での勤務が始まった。町民の方々のご理解・ご協力により各種警察活動を円滑に行うことができた。昨年度までは、コロナの影響で、特殊詐欺被害防止講習や交通安全教室など減少傾向であったが、今年度から徐々に再開し、町民の方々に未然防止策をお伝えする機会が増えた。また、講習を受ける機会が少ない方でも「駐在所だより」を参考に、特殊詐欺被害防止や交通事故防止についても掲載しているため、賀露地区から被害が出ないよう、町民一丸となって実践していただきたい。

## 賀露町の人口・世帯数



〈高齢化率〉1403人  
人口のうち65以上の割合(14%以上が高齢社会)  
賀露町 28.03%

〈年少人口〉719人  
人口のうち0～14歳の割合  
賀露町 14.36%

〈年代別人口〉

	子	人	オ	人
0～ 9	455	50～59	612	
10～19	527	60～69	589	
20～29	451	70～79	640	
30～39	532	80～89	385	
40～49	720	90～	94	

**体育会** 会長代行 伏野 久

- ① 「コロナ禍が明け、戻りつつある日常」
- ② ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、様々な制約のもとと過ごしてきた日々がようやく明け、校区民大運動会や各種町内競技大会も開催できるようになりました。何年も運動や競技から離れていたとは思えないほど町民の方々の動きは素晴らしかった。運営陣も記憶を辿りながら懸命に大会運営に努めた、至らない点もありご迷惑をおかけしたが町民の皆様のご協力により楽しい体育会行事を遂行できたこと感謝申し上げます。個人的な見解になるかもしれませんが、全国的に町内行事に煩わしさを感じる方も増えつつある世の中でも、久し振りに日常に戻った体育会行事を通じ他者とのつながりを強く感じ、地域住民の繋がりの大切さを再認識した一年であった。様々な町内行事が盛り上がることで賀露町全体が活性化するという思いのもと、今後も体育会一同頑張っていきます。

## 令和5年度各種競技



各町内競技大会への沢山のご参加、ありがとうございました。

**賀露みなと観光協会** 会長 中村 俊介

- ① 海水浴場開きと白いか祭りの活動報告
- ② ・ 7月15日10:00～ 「賀露みなと海水浴場海開き神事」 自治会長他、関係者に参列いただき、海水浴の安全祈願を行った。海水浴期間7月15日～8月16日
- ・ 7月22日23日 わったいなとりっこ広場にて「賀露白いか祭り」を2日間開催した。白いかのもりもり井や創作井のほか、鳥取グルメの店舗などにも出店頂いた。イベントステージを設け「賀露神社の麒麟獅子舞」「賀露伝承芸能保存会の貝殻節」他、多くの団体に演舞を披露してもらい、祭を盛り上げて頂いた。来場延べ約5000人。



白いか祭り エイエイオー！！

**賀露文化保存会** 会長 岡村 吉明

- ① 「温故知新」(文化の伝承のために根っこを学ぶ)
- ② ・ ふるさと学習「北前船・賀露物語」11月22日
- ・ 「映像で見る北前船の寄港地物語」  
講師 海外シニアボランティア 山田 晋氏  
日本遺産認定の「北前船寄港地・船主集落」が全国で42市町あり、この中で自身が訪ねた港の映像と印象を北海道から東北・北陸まで10ヶ所をカロ弁で、オモシロ・おかしく説明され、次回も所望された。
- ・ 「北前船・かろ物語」 保存会 会長 岡村 吉明氏  
賀露神社に縁の北前船関連の文物の説明と江戸～明治に実際に活動し、他国の能登・福浦港や尾道港・浜田港に入津した賀露の船や船主・屋号の名前を船宿の記帳を基に、船主(屋号)40軒、船名47隻を紹介した。
- ・ 賀露・上小路・千代水六社研修会 11月26日  
「新説!!秀吉の鳥取城攻め」賀露神社 祢宜 岡村 吉彦氏  
秀吉の鳥取城攻めは兵糧攻めが強調されて来たが、実は山陰全域を舞台としたスケールの大きな戦争で、いわば織田と毛利の天下分け目の戦いであった。(イメージの転換を)



講演の様子

## 子ども会助成会 会長 米村 達雄

①「遊び、イベントを通じ子どもと地域の輪を広げよう」

②【6年生へ】いちご狩りチケットなどを贈答。

【冒険きち】公民館と共催で2回実施。体育館遊び・木工・工作・火おこし等、12月は地域の方と餅つきをし、つきあがったお餅はその場で堪能した。

【古紙回収】6月実施、小学校の先生に協力いただく。

【夏休み「カヌー」と「ヒラメの放流・モルック」】

(みなとオアシス主催) 絶好のカヌー日和の中、親子で協力しながら体験。ヒラメの放流では集中豪雨で沢山の漂流物を目の当たりに。モルックは初めて体験した人も多かった。

【奉納相撲】男女14人の小学生が参加、全力でぶつかりあった。

【町民文化祭】体育館ではシューティングゲームに幼児から中学生まで挑戦、外ではポップコーンを提供。

【イルミネーション】昨年に引き続きかっこ館前に設置した。

今後も地域の中で、親子一緒に楽しめるイベントを提供していきたい。



冒険きち

## 賀露保育園 園長 小川 照美

①仲間とともに挑戦する意欲としなやかに生きる力を育む  
～じぶんもいいね・ともだちもいいね・それいいね～

②本園では、遊びを通じた育ちと学びを未来へつなぐよう、遊びきる子ども・心豊かな子どもの育成を目指している。子どもは身近な大人との愛着を拠りどころとして、人への深い信頼感や自己肯定感が育つ。周囲から愛され、大事にされていることを存分実感することで、次第に「自分っていいな」という気持ちと自信、「やってみたいな」という意欲、好奇心、探求心、「できた、楽しかった」という満足感や達成感、「友達っていいな」というつながる喜びや共感する喜びが育っていく。これからも、子ども達が「保育園で〇〇して遊びたい」と期待して登園し、笑顔いっぱい活動できるような保育園にしていきたい。引き続き保護者の皆様や地域の皆様に支えていただきながら、賀露の子ども達が心身ともに健やかに、そして心豊かに成長していけるよう、「保育園だいすき♡・みんなであいさつ・ステキな地域」を合言葉に、全職員で保育に取り組んでいきたい。



賀露神社で初詣

## 賀露みどり保育園 保護者会長 植木 嘉朗

①「のびのびと豊かな表現を育てる」

②・今年度は感染症の影響を大きく受けることなく、運動会や生活発表会等のイベントを、参加者の人数制限を緩和して開催出来たことで子どもたちのたくさんの笑顔、元気な姿を多くの保護者の方々に観ていただくことができ、本当にうれしい一年だった。

・園長先生をはじめ、先生方においては、通常保育だけでも大変な労力だと思うが、それに加え音楽やダンスなどの指導やイベントの準備等に尽力していただき、本当に感謝している。

・今後も、子どもたちへの変わらぬ保育をお願いしたい。



みどりっこまつり



運動会



発表会



## 賀露小学校 校長 岸田 靖弘

- ①「元気」「根気」「勇気」「思いやり」を合言葉に頑張っています。
- ②・6月に4年ぶりとなる賀露校区民大運動会が白浜グラウンドで開催された。赤イカ音頭、貝殻節、賀露小ソーランを披露して、保護者や地域の方々から大きな声援や拍手をいただいた。
  - ・創立150周年を迎え、10月に賀露小の卒業生であるリンガーハット株式会社の米濱和英名誉会長に來校いただき、150周年記念事業を実施した。
  - ・12月に学習発表会を開催した。4年ぶりに新型コロナの制限のない発表会を実施し、各学年が日頃の学習の成果を発表したり、全校合唱を披露したりすることができた。
  - ・見守り隊、奉仕作業、各行事へのサポートなど、日頃より大変お世話になっております。引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



賀露健児賞のマーク  
『元気・根気・  
勇気・思いやり』



創立150周年記念全校写真

## 賀露小学校教育振興会 会長 田村 信幸

- ①時代に合った取り組み方を周知してもらう。
- ②\*運動会のバザー
  - \*サーフィンスクール@賀露ビーチ
  - \*キャンプファイヤー
  - \*古紙回収

### 現状と抱負

- ・コロナ禍明けで各行事が去年より活動的な年になった。
- ・振興会として伝統も残すが伝統的理解からの移行期でもあった。今後も新しい取り組み、現代的考え方で子どもたち地域の方々に関わっていきたい。



キャンプファイヤー

## 湖東中学校 副校長 久住 茂

- ①「地域とのつながりを強め、地域社会を生きる中学生として何ができるか考え、実行する」
- ②湖東中学校では、夏休みを中心に部活動ごとに地域に出かけて清掃活動を行う「キラッと大作戦」を実施している。今年度も湖東グリーンゾーン賀露支部主催の賀露海岸清掃にたくさんの生徒が参加した。生徒会執行部が司会進行を行い、参加した生徒たちは時間いっぱい一生懸命海岸清掃に取り組んだ。また、清掃活動の前に鳥取警察署生活安全課の方から「ミニ非行防止教室」としてお話をいただいた。生徒たちは地域の方々に見守られ、支えられていることを実感し、自分たちも地域のためにどのようなことができるか考える機会となった。
- 1月より、新しくなった教室棟での生活が始まった。何年も先の後輩、もしかしたら我が子が通うかもしれない新校舎。大切に使っていきたい。



賀露海岸清掃



新校舎

**賀露地区人権啓発推進協議会** 会長代行 芥島 寿美

- ①人権を尊重した差別のない明るいまちづくりを推進
- ②・小地域座談会 全11町区(賀露町、南隈)で開催  
啓発DVD 視聴後、市推進員による解説、助言
  - ・協力員研修① 5月30日「ヤングケラーの支援について」
  - ・協力員研修② 12月19日「気づいていますか？  
日常生活に潜むバイアス～ジェンダーバイアスを考える」
  - ・現地視察研修 12月8日「大山口列車空襲事件」(大山町)  
講演・慰霊碑拝礼
  - ・その他湖東ブロック、鳥取県、鳥取市各人権研修参加
  - ・人権啓発だより20号発行 ・人権図書購入



現地視察研修 大山町

**湖東グリーンゾーン賀露支部** 会長(支部長) 石黒 智

- ①「あいさつで広がる笑顔の輪 地域の輪」
- ②・小中学生を対象にあいさつ運動の実施。
  - ・海岸清掃及びミニ非行防止教室の実施。
  - ・かるこども庁との連携。
  - ・地域の啓発用看板の更新と新設。
  - ・支部総会と講演会を6月20日に4年ぶりに通常開催。講演会では、  
県教委の足羽氏を講師に「子どもたちがインターネットとより良くつきあっていくために」を受講。
  - ・11月3日の町民文化祭において、PTA活動1人1役によるイベント「輪投げ」「射的」「Tシャツプリント屋さん」に初出店した。中学生もボランティアとして活躍し、にぎわいをみせた。
  - ・「地域の子どもは地域で守り育てる」の基本を念頭に、今年も関係諸団体と連携を図りながら、活動します。



おはようございます

**賀露ボランティアの会** 共同代表 今嶋 三郎 大黒 進

- ①「ボランティア活動を通して、地域社会に貢献します。」
- ②・本会は、既存の組織・団体では、「取り扱っていない事案」、「取り扱うことが困難な事案」等を、「出来る人」が、「出来る時」に、「出来る範囲」の活動を行うもので、誰でも参加できる垣根のない会です。

(令和5年度の主な活動)

主に小学校の奉仕作業(庭木等剪定、樹木伐採)、雪かき。町民文化祭での「おにぎり、パン」のブース販売。

(具体的な活動範囲)

- ①環境美化活動、
- ②子ども見守り活動・かるこども庁等支援、
- ③高齢者支援、④文化芸能活動支援、
- ⑤その他目的を達成するための活動



R5.8.26小学校奉仕作業

## かるこども庁（かる子育て支援ネットワーク）

事務局 今嶋三郎 大黒進 石黒智 岸多津 工藤純 上田和宜 塩根大樹

### ①子育てしやすいまちづくり

～親子が健やかに安心して子育てができるまちづくり～

### ②情報発信、情報共有・調整

かるこども庁全体会開催 かるこども庁通信発行 事務局定例連絡会  
かるこども庁は、約40団体で組織されており、主に情報共有を行っている。  
各団体や一般町民の方々は、「元気な賀露健児の育成をめざし」  
それぞれの特性を活かした活動を行っている。全体会議では、  
各団体等と情報共有を行った。



R6.2.3 かるこども庁全体会

## Topics

## 元気な賀露健児の育成をめざして～ふれあい協働交流～

### 地域と子ども

登下校の見守り  
あいさつ運動  
各団体イベント  
お祭り・文化祭 等



雪の日の見守り 声かけ

#### ●保護者感想

夏休みに地域イベントに参加すると、  
子どもは楽しめるし親は安心して仕事に  
行けました。

### 地域と小学校

米づくり  
昔遊び交流  
家庭科授業応援  
プール見守り  
読み聞かせ・音読支援  
自治会・民児協参観日  
校内環境整備  
配食弁当に、小学生からお手紙プレゼント 等



ミシンでエプロンづくり

#### ●地域感想

学校に行って、子どもとふれあったら、元気に  
なりました。

### 郷土愛を育む祭りの伝承

賀露神社総代長 岸 博道

賀露神社には、2年ごとに開催される約350年続く春季例大祭「ホーエンヤ祭」（鳥取県無形民俗文化財指定）があります。コロナ禍で延期が続く中、町民、小学校の強力な支援協力の下、4月29日に5年ぶりに開催されました。この祭りは、小中学生・高校生・青年までそれぞれ神具の役割を担っており、1ヶ月前から師匠・世話役をはじめ町民の各世代が一緒になって祭りの準備に携わります。毎晩土日もなく練習に励み、保護者も仕事や家事の都合をつけて練習を見守ります。この1ヶ月に及ぶ壮大な町おこしが町民の一体感を生み、とてつもない郷土愛を育むこととなります。子どもたちはこの祭りを順次経験することで、いくつになってもどこに行っても必ず「賀露が大好き」と誇りを持って言うようになります。港町にふさわしく、みこし海上行列を伴う伝統的な祭りが永年伝承され、賀露の港が未来永劫発展することを願う次第です。

### 学校運営協議会

小学校を核とした地域づくりをめざし、R5年度は4回開催された。学校の取り組みや子どもの様子を共有し、学校・家庭・地域が一体となり元気な賀露健児の育成を目指している。

### 子ども見守り隊 代表 今嶋三郎

- 見守りボランティアの協力願い
- ・小学生がいる「おじいさん、おばあさん」へ。  
”少しの距離でも、いっしょに登下校しませんか！”
- 基本スタンス
- ・できる人が、できる時間に、できる事を、できる範囲でする。無理をしない。
- 留意事項
- ・叱っても怒らない。やさしく注意。いいところを見つけ。
- 効果
- ・大人の眼が多いと、子どもも安心ができ、安全も図れます。
- ・子ども達が犠牲になる、痛ましい事件や事故を未然に防ぐ事ができます。
- ・あいさつの飛び交う町には、泥棒などの不審者は近寄きません。
- 現状
- ・現在、約40人の方が子ども達の登校の見守りを行っており、内、20人以上の方が毎朝、子ども達の登校の見守りを行っています。

Topics

2023  
11/3~4

第3回

# 賀露町民文化祭 地域のかで盛大に開催

## 大抽選会 1等 松葉かに

今年度の文化祭は、自治会主導のもと、屋外イベントチーム、体育館イベントチーム、公民館イベントチームを編成して運営しました。地域住民（11町内会・18団体）、小学校、保育園もそれぞれ役割を分担し、皆で創り上げた文化祭でした。天候にも恵まれ、町民の3分の1(1,500人)が楽しみました。

芸能発表会後の大抽選会では、たくさんの景品を用意。一等賞は松葉ガニ、二等賞は親ガニでした。来場者から「スタッフが楽しそうに対応してくれたので、とても楽しかった」との感想をいただきました。皆でワイワイ楽しみながらの活動は、きっと新たな交流の場の創出に繋がることでしょう。

1週間前準備



机・イスの清掃

公民館



見事な町民作品

屋外



おいしいものがいっぱい ゲーム・ものづくり大盛況

体育館



## 公民館

広報誌を眺めながら 館長 石黒仁史 (令和5年10月就任)

賀露町の出来事や町内の多くの団体の活動をお伝えする広報誌には、現在、毎月1回発行する「かろ便り」と年1回発行する「かろ広報」があります。過去には「賀露新聞」や、「公民館だより」がありました。

昭和31年創刊の「賀露新聞」第1号の一面には、旧賀露小学校体育館の着工を伝える記事や青年団演劇発表会開催の記事が掲載されています。また、昭和59年創刊の「公民館だより」第1号には高齢者教室の活動報告や書道教室開催のお知らせなどが掲載され、当時の様子を伺い知ることができます。

公民館には、過去に発刊された広報誌をすべて保管しています。広報誌に掲載された記事は、平成21年に賀露町自治会が発行した「賀露誌」にもたくさん引用されており、賀露の貴重な歴史資料となっています。

これら広報誌を眺めていると、本棚にただ眠らせているだけではもったいないように思います。もっと多くの人に町民の皆さんの活動を知っていただきたい、賀露のまちづくりに役立てたいなどと勝手な想いが膨らむばかりです。という訳で、記事の充実や新たな情報発信の仕組みづくりを、来年度の宿題とさせていただきたいと思います。

### 2023年度の記録

- ・公民館、体育館内照明器具LED化
- ・体育館屋根改修工事(6~10月)
- ・公民館避難所開設  
(8月15日台風7号、令和6年1月1日能登半島地震)

### ~子どもたちの健やかな成長を願って~ 親子教室35周年記念事業

昭和63年より青少年健全育成を目的に始まった親子教室は、令和5年で35周年を迎えた。記念事業として、福部未来学園副校長大高美穂子先生のおはなしや読み聞かせなどを賀露保育園にて行った。また親子教室から生まれた音楽ユニット「にしじろたいむ」のミニコンサートも楽しんだ。この教室から生まれる出会いや交流が、元気なまちづくりとなるよう願っている。



みんなおともだち 七夕まつり

### お茶っ子クラブに表彰状

代表・指導 米澤洋子さん  
青少年育成鳥取県民会議より、青少年育成活動に特に顕著な成果を上げた団体として、表彰状が贈られた。同クラブは、日本文化のすばらしさやおもてなしの心、人と人との交流の楽しさを伝えることを目的に2008年に結成され、今年で15年を迎える。スタッフに見守られながら茶道を学び、多くの児童が巣立っている。



表彰を喜び合う児童とスタッフ